

1日目：特に印象に残った内容や感想、要望などをお書き下さい。

河合 雅司先生のご講演は大変興味深く聞かれました。人口減少、少子高齢化への対応策として「戦略的に縮む」という成長モデルが必要であり、社員に当分の生産性を向けてせよ、少人数でシフトで付加価値を向上させ、大量生産見込から少量生産見込に転じていく必要があり、より一歩もモデルの先に自衛隊に比べて高い物を高く買ってもらい、それしかたがないと強子に比べて「無価値なもの存在」になることを目指す必要と聞かれました。

歯科医養、とくに歯科医院におきかた、この人口減少に対応するに同じことは必要であるという点に感じます。

医療の質を制限しては、治療やケアはもつたこと、全ての歯科医院が一定の質を上げ、自衛隊に比べて高い事の付加価値を上げて行くことが必要であると思われ、そのためには医院の統合や、エビデンスの活用、患者教育が重要であると思われ。又、地域との連携も視野に入らなければならないと聞かれました。

2日目：特に印象に残った内容や感想、要望などをお書き下さい。

工崎 視英先生のご講演、「社会は変化する」、人口減少、少子高齢化における社会保障費や医療費の問題と違の発想、その見方、これ「生涯現役社会の実現」を目指しては、明るい夢は、社会工場のこれこれと聞かれました。

人口減少を構想する中で実現が難しいと聞かれましたが、非常に重要な発想と聞かれました。(今の社会が、高齢化の世代が生産年齢期の世代で、)

と聞かれました。私も2週目の人に入りました。この中で中企業(医院)の社長業を中心に、社会に、若い世代の役に立つ仕事を中心とした活動をしてほしいと思われ。

大変おもしろい講師をお招きいただきありがとうございました。

チームミーティング終了後、医院単位でまとめて、受付に提出してください。

日吉歯科診療所

1日目：特に印象に残った内容や感想、要望などをお書き下さい。

日本海総合病院の栗谷義樹先生のお話、  
病院を統合して必要な人員配置を上午に  
行っている。今後歯科も、そういうことが進んでいくので  
はないかと思いました。

熊谷先生のお話。X277次に通えなくとも高齢の  
患者さんには、ケアを提供するスウェーデンの会社、同じ  
ようなシステムが日本にもできると良いかと思いました。

2日目：特に印象に残った内容や感想、要望などをお書き下さい。

宮本先生。デジタル化が進んでこれからの歯科界がどうなるか  
楽しみにしていました。

ハシ先生の話。患者教育。eのケア。非外科での症例、  
新分類。どの内容もわかりやすく。明日からの診療に  
役立つ内容でした。

江崎先生の話。高齢化のとりえ方視点を改めてみると  
良いことがいっぱいだと思いました。「ありがとう」と言っ  
てもらえたい。人であり続けたい。そのために自分ができていることを日々  
考えて遇いたいと思います。

チームミーティング終了後、医院単位でまとめて、受付に提出してください。

日吉歯科診療所

1日目：特に印象に残った内容や感想、要望などをお書き下さい。

90歳前後の患者さんの歯が28本揃っているのを見てみんな驚いていたが、いかに90歳のおじいさんおばあさんの手足の指が20本揃っているのを見て驚く人はいるだろうか？耳が2つ、目が2つあって驚くだろうか。歯が28本あるのは身体にとっては普通のことなのだから、90歳の人を口腔内を覗いた時に歯が1本無いことに驚く時代が来ることを願っています。

Xレントパスに通えなくなった患者さんへの対応が、予防、治療、この時代の歯科はやらないといけないことばっかり増えていくため、今の時代この時代の必要のものを知らずに行動に移せる歯科医療従事者を増やさないといけない。そして、どの対応が最も合理的でいいのかわからない、その方法を見つけて確認することはできないか、あるんじゃないかな...

2日目：特に印象に残った内容や感想、要望などをお書き下さい。

自分の子供の頃は歯が痛くなったら親に言って、連れていってもらう医院も親が送って次の予約も、その日何をしたらいいかを聞くのも、お金を払うのも、全部親。子供の未来の一部を担うのは最初の入口はほとんど親が思うので、その人たちが正しい情報正しい本来の歯の守り方をキャッチできる場所、機会を増やしたい。今現在デジタル化が進んでいるがさらに利便性普及性を求めてシステムを大きくはうとしたりしているが、日吉歯科は何年も前からMTMでこの患者を変えている。今おと大事なのは、その正しい情報をどこにどの人にも伝えることができるか、日常の中に持ち込めるかじゃないだろうかと思う。歯科医師目線で歯科医師が便利になることじゃなく、一般人目線で活動できないだろうか。これまでのやり方が患者は変わることは証明されているのだから、その入口を広く開いて、ケアも歯が壊れた後も全部フォローしていき、どこまでいけるだろうか？患者目線になる人が増えるといい。

チームミーティング終了後、医院単位でまとめて、受付に提出してください。

日吉歯科診療所

1日目：特に印象に残った内容や感想、要望などをお書き下さい。  
 人口減少社会で想定できる様々な現象に、私たち歯科医療従事者が何かできるか？という疑問に対して、明確な答えをいただいたすばらしい内容でした。2013年か参加している Team Meetingの中で、過去最高に良かったです。私たちが関わる歯科医療という産業は、ライセンスに守られているという側面から、産業自体を社会から切り離して考え、更に行く必要があります。しかしながら、「医療も「仕事」も「生きる」ことも、社会活動です。歯科医療の現場であつては、悲惨な現実から、もうこれ以上、目をそむけてはいけないう時期です。社会活動として、医療とちゃん向き合おうとします、自立支援社会と、報道記者の「町づくり」「医療コスト（全人償還）の最適化」「歯科疾患が自立」というそれぞれの立場から、河合さん、山中さん、栗谷先生、熊谷先生という第一線で、現実を改革している方々の話を聞き、自分ももっとが人になりたいと、くわしい気持ちになりました。私のクリニックも2016年4月から、メンテナンス（予防医療）は、AAPの定め）主治医以外は、完全に自由診療でまわって、400以上のポスターが出て、自由診療でのメンテナンスで改善はかかっています。

2日目：特に印象に残った内容や感想、要望などをお書き下さい。  
 官本先生の「10X Result Game Changer」と6DSの話は、デジタル化社会では必須の思考であり、大変参考になりました。私たちが歯科医療従事者は口腔疾患のパーソナルデータを患者の手に届けるインフラの役割を担うことは欠かせないという課題をいただいたような気がしました。Dr. クロキホルトのAAPの新しい歯周病の分類の話も非常に胸に響く部分が多くありました。重症度（Stage）と進行速度（Grade）も分けて分類することにより、分析をかけたから、非外科的なアプローチを軽度のものからすすめて、治療をはかると、一歩強かに治る治療法をエビデンスを持っていくので、安心です。また、母親のGradeが一番重症の「C」であった場合、若年層の娘の患者のGradeも「C」決定というのも非常にわかりやすく、カイトラインとして親切だと感じました。ただし一つ気になるところがあり、OHISの基準にメンテナンスをまわっているのですが、AAPの分類と今後統一される見込みがあるかどうか知りたくて、

6.5分で、自由診療でメンテナンスという多くの歯科医院はしりこみしりこみ、慢性疾患である歯科疾患は（う蝕歯周病）生活習慣病なので、疾患のパーソナルデータを患者に渡り普段おこなうセルフケアの適正化を歯科医院で「おこなうべき人」になりせん、

チームミーティング終了後、医院単位でまとめて、受付に提出してください。

「アツ」です。生活習慣病の治療は、「ダイエットとその後の体調維持」に似ているので、大切なのは患者に「きつ人とお金を払ってもらう」という行為をさせ、きつ人とお金を払ってもらうことには「患者に責任の一端をきつ人とになってもらう」ためです。体の健康の維持には、「自分の歯で食事をとる」ということが不可欠なので、本来の適正な歯科医療（Keep 28」型歯科医療）は、「社会からの個人（老人と若者）の自立や自己完結型社会の実現の下地」と思っています。今日のチームミーティングをきっかけに負けず嫌いな歯科医師がより多く一歩突っ込んでほしいです。

日吉歯科診療所「デンタルチェア」

1日目：特に印象に残った内容や感想、要望などをお書き下さい。

私自身が高齢者や看取りに関わる仕事をしているため、超高齢社会を迎えてどう地域を維持していくかを常に考える日々々の仕事をしている。

高齢 + 女性 + 単身 + 貧困 + 疾病構造の変化 (がんの増加)

おびに突入しています。予防歯科は「看取りまでのkeep」でなければいけないと思います。歯を多く残すのが中々にけずや治療が必要になってくるという話が出ていますが、予防 = 看取りの責任ではないでしょうか。ぜひ、先生方には「通えぬくは、在るの教育も治療室の外に出る患者の所に向いていってくださる予防歯科医院が増えていくことを願っています。

患者に  
してほしい。

2日目：特に印象に残った内容や感想、要望などをお書き下さい。

デジタルモバイルを使ったヘルスケア、コミュニケーションにより、健康づくりが主流の時代になっている。素晴らしい事だと思います。一方で、あんなAIにコントロールされる生活が気がつかないままに管理されていくのではないかと、とても恐ろしく感じる。

ラバーカップの使い方はおもしろいと思いました。最近ではラバーカップを見かけないが、探して使用してみたいと思う。

MTM  
熊谷直大先生、酒田モデルが、チリがじから巻島まで、100歳まで  
最期までおいしく食べて元気な生活するモデル地区とすることが  
心から期待しています。がんばってください。

お忙しい中にお声かけをありがとうございました。事後改善へお返しにさせていただきます。

チームミーティング終了後、医院単位でまとめて、受付に提出してください。

日吉歯科診療所

新しい動きが始まっています。  
がんばりましょう！！